

茨城県の経済情勢報告

令和5年7月26日 財務省関東財務局水戸財務事務所

本件に関するお問い合わせ先 水戸財務事務所財務課 電話 029-221-3180

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回 比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	<u>~</u>

(注)5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

雇用情勢は持ち直しの動きに一服感がみられるが、生産活動は緩やかに持ち直しつつあり、個人消費は 持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	\searrow
設備投資	4年度は減少見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	\sim
企業収益	4年度は減益見込みとなっている	5 年度は増益見込みとなっている	\sim
企業の 景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが 期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

家電販売額、ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回っている。また、乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。このほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直している。

このように個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- ▶ 商品の値上げによって単価が上昇しているほか、来店客数も増えていることから、売上が増加している。セグメント別に見ると、惣菜が好調で、雑貨もそれなりに良い。(百貨店・スーパー)
- ▶ 人流の回復により、観光地周辺のロードサイドの店舗が好調となっている。県内各地のイベントが、久しぶりに通常開催できていることが大きい。(コンビニエンスストア)
- ➢ 完成車メーカーの生産台数が高いレベルで落ち着いており、新車販売はおおむね好調。長納期化は継続していることから、 既存の顧客に対して、車検のタイミングでの新車提案など早い段階での情報提供を行っている。(自動車販売)
- ≥ 20~30 人規模の宴会はたまにしか入らないが、新型コロナウイルス感染症が5 類移行となった頃から、10 人前後の予約はよく入るようになった。(飲食サービス)
- ➢ 消費行動はコロナ前に戻りつつあり、旅行需要が伸びている。ただし、物価高騰により以前のような安・近・短の旅行商品の提供が難しく、格安旅行を求める層の復活には至っていない。(生活関連サービス)
- ▶ 4月から5月のゴールデンウィークにかけて非常に好調で、コロナ前の売上水準まで戻った観光施設も出てきている。夏場も予約がかなり入っており、人の動きが活発化している。(業界団体)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、食料品などが減少しているが、化学や生産用機械などが増加しており、緩やかに持ち直しつつある。

- ▶ 昨年は定期修繕が例年より長かったため、前年同時期との比較では生産量は大幅に増加している。なお、定期修繕以外の期間はフル生産を維持している。(化学)
- ▶ 中国での需要が落ちている分を、都市開発が堅調な北米でカバーできており、県内工場のみならず国内全ての工場がフル 生産となっている。(生産用機械)
- ▶ 昨年は部材不足等によって生産が十分に行えず苦しんだが、足下では部材不足の緩和や設計変更等によって生産が順調に 進んでいる。(汎用・業務用機械)
- ▶ 飲食店向けの飲料需要は少しずつ回復してきているが、家庭向けの需要がコロナ禍より落ち着いてきているため、全体としての生産量は減っている。(食料品)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は低下しており、新規求人数も減少しているなど、雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

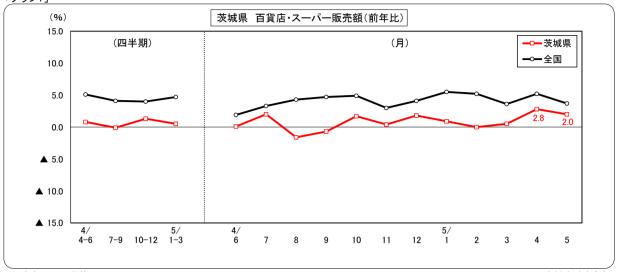
- ➢ 受注が減少傾向にあり、現状の従業員数で不足感が無いため、非正規社員の新規採用は一旦停止している。(製造業)
- ▶ 売上の伸び悩みを踏まえてパートの採用数を減らしている。一時的に人手が不足した場合には、各部門間の相互応援により対応することとしている。(小売業)
- ➤ ドライバー確保に向けて大幅な賃上げを実施した効果で、社員数が増えている。また、「2024 年問題」への対応として、配送コース見直しなど、業務効率化を図っている。(運輸)
- 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期
 - 〇 5 年度の設備投資計画は、製造業では前年比 11.2%の増加見込み、非製造業では同 12.1%の増加見込みとなっており、全産業では同 11.6%の増加見込みとなっている。
- 企業収益 「5 年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年4-6 月期
 - 5 年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比 98.3%の増益 見込み、非製造業では同 3.1%の減益見込みとなっており、全体では同 25.5%の増益見込みとなっている。
 - ▶ 取引先である小売業者、卸売業者とも値上げを受け入れてくれているため、適宜値上げを実施している。消費者にも「値上げは仕方ない」という意識が広がっているようで、価格を上げたから売上が落ちるということはあまりない様子。(製造業(食料品))
- 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期
 - 〇 企業の景況判断BSIは、前四半期(5年1~3月期)に比べ、「下降」超幅が拡大している。先行きについては、5年7~9月期も「下降」超で推移する見通しとなっている。
- 住宅建設 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅及び持家が前年を下回っているものの、貸家が前年を上回っており、 全体として前年を上回っている。
- 公共事業 「前年を上回っている」
 - 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。

茨城県の経済情勢報告

資 料 編

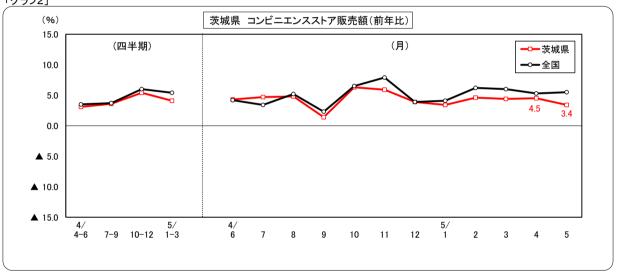
1. 個人消費

「グラフ1」



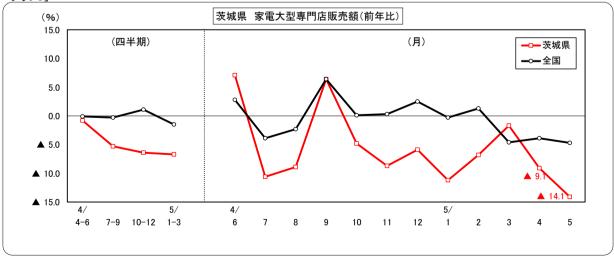
(注)全店ペースの数値。 (資料:経済産業省)

「<u>グラ</u>フ2」



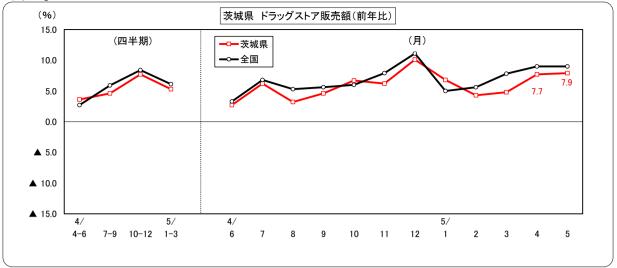
(注)全店ベースの数値。 (資料:経済産業省)

「グラフ3」



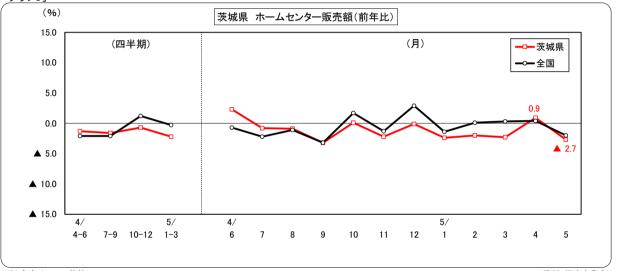
(注)全店ペースの数値。 (資料:経済産業省)





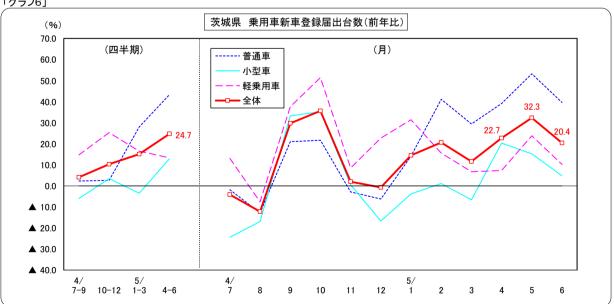
(注)全店ベースの数値。 (資料:経済産業省)





(注)全店ベースの数値。 (資料:経済産業省)

「<u>グラフ6」</u>

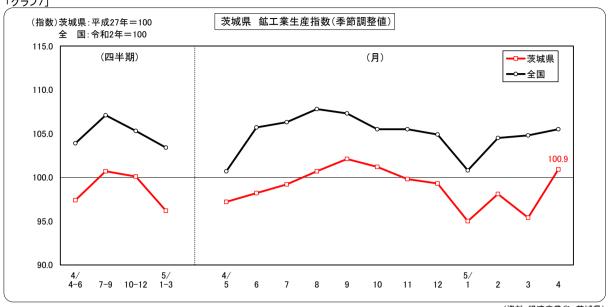


(注)乗用車新車登録届出台数は、ナンバーベースで普通車・小型車・軽乗用車の合計。

(資料:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

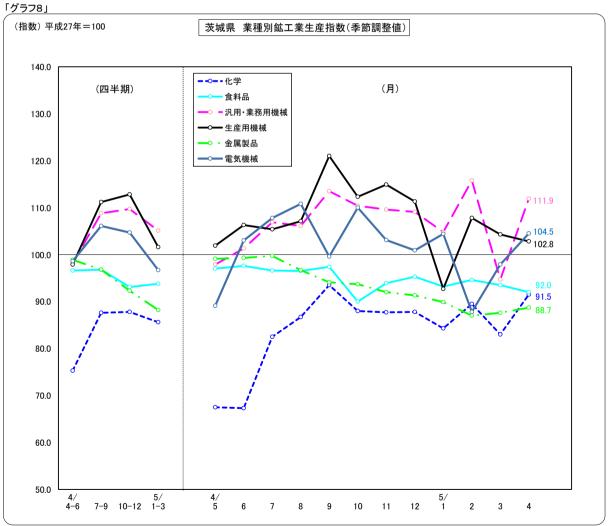
2. 生産活動

「グラフ7」



(資料:経済産業省、茨城県)

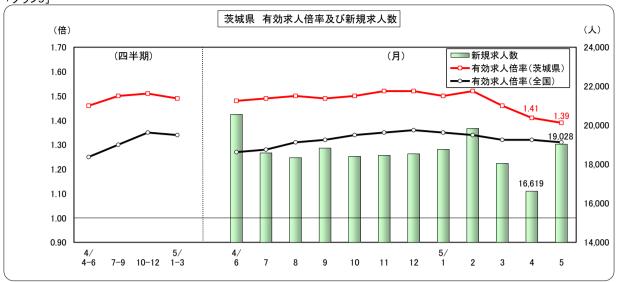




(資料:茨城県)

3. 雇用情勢

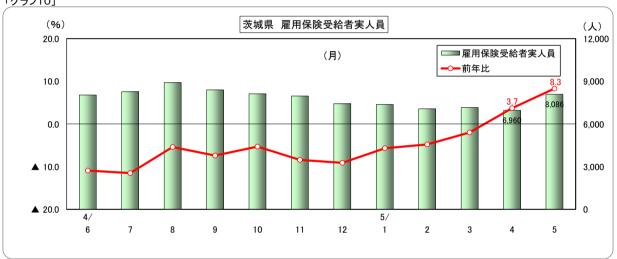
「グラフ9」



(注)パートタイムを含む季節調整値。

(資料:厚生労働省、茨城労働局)

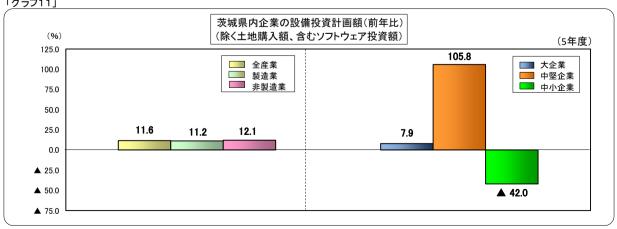




(資料:茨城労働局)

4. 設備投資

「グラフ11」



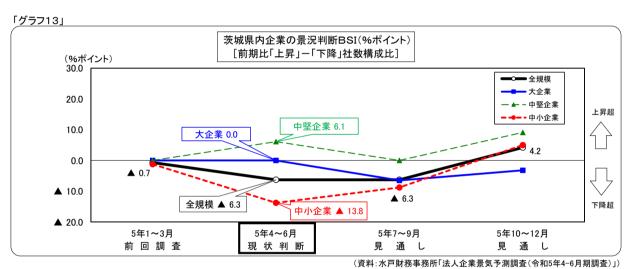
(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査(令和5年4-6月期調査)」)

5. 企業収益

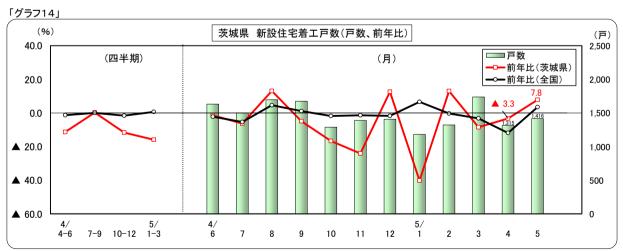
「グラフ12」 茨城県内企業の経常利益(前年比) (除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」) (5年度) 125.0 全産業 大企業 大企業 98.3 製造業 中堅企業 100.0 中小企業 非製造業 75.0 50.0 33.2 25.5 17.8 25.0 0.0 ▲ 3.1 **▲** 5.6 ▲ 25.0

(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査(令和5年4-6月期調査)」)

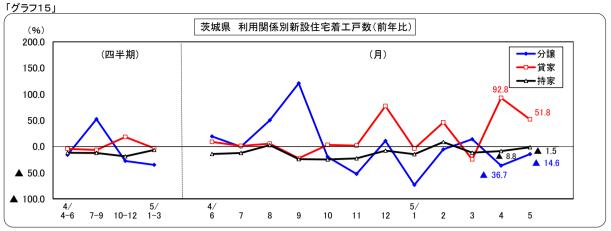
6. 景況感



7. 住宅建設

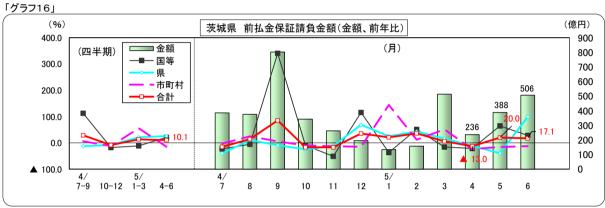


(資料:国土交通省)



(資料:国土交通省)

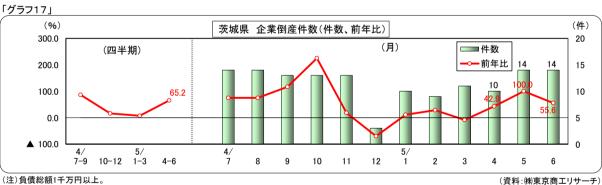
8. 公共事業



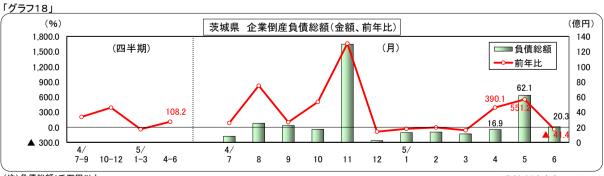
(注)国等には独立行政法人等を含む。

(資料:北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 企業倒産



(注)負債総額1千万円以上。



(注)負債総額1千万円以上。 (資料:㈱東京商エリサーチ)